

患者の皆様へ

2024年12月04日 消化器内科

現在、消化器内科では、「生体試料を用いた肝疾患の発症・進行メカニズムの解明および治療標的・治療効果規定因子の同定のための分子生物学的解析」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では、2018年2月から2026年3月までの期間の肝疾患患者さんの診療情報などを利用して頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名：「生体試料を用いた肝疾患の発症・進行メカニズムの解明および治療標的・治療効果規定因子の同定のための分子生物学的解析」

2. 研究の意義・目的：「肝疾患の発症・進行の仕組みを明らかにし、治療法や診断法、治療効果予測法を開発する」

3. 研究の方法：2018年2月から2026年3月の期間で、血液検体、肝組織検体、腫瘍組織検体などを使用し、DNA や RNA や蛋白質などを抽出します。共同研究機関である Liver Tumor Translational Research Lab, Division of Digestive and Liver Diseases, Department of Internal Medicine, University of Texas Southwestern Medical Center（責任者:Yujin Hoshida, Hiroaki Kanzaki）に個人情報that特定できない状態で血液検体、肝組織検体、腫瘍組織検体、診療情報などを郵送、電子的配信などで共有したのち、解析を委託する可能性があります。また、試料の一部は、個人情報that特定できない状態でヒューマンメタボロームテクノロジー社および九州プロサーチ社、SRL社に送付し、代謝産物の測定を行います。得られたデータを診療情報（年齢、性別、人種、身長、体重、飲酒量、合併症、既往歴、内服薬、生存期間、肝移植の有無、血液検査値、組織所見、画像所見など）と比較検討します。

4. 個人情報の取り扱いについて：本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表の際には、患者さんの氏名などは一切公表致しません。データ等は、千葉大学大学院医学研究院消化器内科学教室の鍵のかかる棚で保管します。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について：ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて揭示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院消化器内科

本件のお問合せ先 : 医学部附属病院消化器内科 医師 加藤直也、中村昌人、近藤孝行

043 (222) 7171 内線 5241 (消化器内科医局)